

FRP防食ライニング

標準仕様書・同解説



FBK FRP防水材工業会

FRP Waterproofing Membrane Industries Association

FRP 防食ライニング標準仕様書・同解説

作成の趣旨と経緯について

FRP は木造住宅バルコニーの室内への雨水の侵入を防ぐ「防水」から、腐食性の高い汚水や薬液などからコンクリートを保護する「防食」の両分野において、使用する樹脂と仕様を変えることで広く使用されてきました。

「防食」の分野では FRP 防食ライニングは、汚水をはじめ様々な薬液などから下地のコンクリート等の腐食を抑制する効果があることから、防油堤、防液堤、防食床や汚水槽、廃液槽、薬品槽、水槽、養魚槽などの様々な槽で使用されています。

FRP 防食ライニングは、日本建築学会「FRP 防水工事施工指針・同解説」において防食仕様・重防食の指針仕様として掲載されています。また、日本下水道事業団「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」においても、塗布型ライニング工法の一つとして掲載されていますが、「防水」と「防食」の区別が明確ではない領域がありました。

昨今のコンクリート構造物の腐食は、インフラの安全性や信頼性の懸念から、FRP 防食ライニングに対する要求は大きなものとなっています。

FRP 防水材工業会では防食 WG を立上げ、「防水」と「防食」の領域を明確にし、FRP 防食ライニングで使用する材料の品質規格を設定、有機酸を含む耐薬品性、耐熱性、耐摩耗性、耐久性などが要求される部位に、様々な FRP 防食ライニング仕様を適材適所に使用することができる「FRP 防食ライニング標準仕様書」を作成しました。

本書を FRP 防食ライニング工事の仕様の選定や施工管理において役立てて頂ければ幸いです。

2026 年 4 月

FRP 防水材工業会
専門委員会 FRP 防食 WG

FRP 防食ライニング標準仕様書・同解説

目次

	本文ページ	解説ページ
1章 総則		
1.1 適用範囲	3	21
1.2 用語	3	22
2章 FRP 防食ライニング下地の基本要件		
2.1 下地の種類	6	25
2.2 下地形状	6	25
2.3 下地の状態	6	26
2.4 その他	6	27
3章 FRP 防食ライニング層の種別と適用		
3.1 標準仕様	7	28
4章 材料		
4.1 プライマー	10	41
4.2 防食用ビニルエステル樹脂	10	42
4.3 ガラスマット	10	45
4.4 サーフェスマット	11	46
4.5 硬化剤	11	46
4.6 トナー	11	47
4.7 保護・仕上材	11	47
4.8 防食用ビニルエステル樹脂パテ	11	47
4.9 促進剤	12	48
4.10 パラフィンワックス	12	48
4.11 その他	12	48
5章 施工管理		
5.1 施工計画	13	49
5.2 防食工事業者の指定	13	50
5.3 使用材料・機器の保管および取扱い	13	51
5.4 作業環境	14	54
5.5 安全管理	14	55
5.6 損傷防止	14	57
5.7 確認・検査	15	58
5.8 廃材の処理	15	59

6章 施工法

6.1 FRP 防食ライニングの施工	16	60
--------------------	----	----

付録

付録1 防食用ビニルエステル樹脂	67
付録2 防食用ビニルエステル樹脂の耐薬品性能	70
付録3 前処理・端部処理の施工例	71
付録4 施工管理記録	75
付録5 FRP 防水材工業会 会員名簿	76